

お手入れ方法	
ご使用後は必ずお手入れをお願い致します	
本体	● 本体のつけ置き洗いはしないでください。プラスチック部品と金属の隙間に水が浸入しサビが発生したり他の物を汚したりします。
	● 食器洗浄機または食器乾燥機は絶対に使用しないでください。(キズや変形の原因となります)
中せん	● 中せんはパッキンを外し洗浄することができます。(5ページ 中せんの洗浄方法参照)
	● 通常のお手入れは中性洗剤をご使用ください。汚れた際は流水でよく洗ってから乾いた布で拭き取ってください。
	● 食器洗浄機または食器乾燥機は絶対に使用しないでください。(キズや変形の原因となります)
	● 塩素系漂白剤は使用しないでください。(内部のスプリングがサビます)
● つけ置き洗い等で中せん内部に水が浸入した場合は分解してよく乾かしてください。	
中せん ※ 中せんは消耗品です。損傷している場合は新しい部品に交換(有償)してください。	
赤サビ状の斑点	● 水に含まれる鉄分により付着したものです。食酢をお湯で薄めて入れ約30分後に柔らかいブラシでこすり取ってください。
ザラザラしたもの	● 水に含まれるミネラル分(カルシウム)等によるものでクエン酸をぬるま湯に溶かし入れ、約3時間後によく洗ってください。
ひどい汚れ	● 内ピンは酸素系漂白剤、又はボット用洗浄剤をぬるま湯に薄めて入れ約30分後に柔らかいスポンジで洗い十分に乾燥させてください。
	● 塩素系の漂白剤は絶対に使用しないでください。(サビ発生の原因になります)
	● 本体外側の汚れは、お湯で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れを拭き取り乾いた布で十分に拭き取ってください。
保管	● 本体外側に漂白剤を使用しないでください。(成分に因り、表面絵柄がはがれることがあります)
	● 保管する際は、汚れを落とし十分乾燥させてから保管してください。

安全上のご注意	
● ご使用前にこの「安全の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 ● ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や障害を未然に防止するためのものです。	
警告 注意	△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示しています。 この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。 この警告事項に反した取扱いをすると、人が重傷または物的損害を負う可能性があることを示します。 ○①記号は、禁止事項、確認事項を示しています。取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示しています。 ○記号は、禁止の行為を示しています。記号の中の図は禁止事項を意味します。 ①記号は、必ず大人の方が確認していただく内容を示しています。
必ずお守りください	
● 乳幼児の手の届かないところに置いてください。また、いたずらには十分注意してください。(けが等の重大な事故につながる恐れがあります)	
● ストープやコンロ等火のそばに近づけないでください。(火災の原因となる恐れがあります。また、製品の変形や変色の原因となります)	
● ショルダーヒモを使用したままでの運動は止めてください。また、遊具等でのお遊びもお止めください。(体からまって締め付けや重大なけがの原因になり非常に危険です)	
● ショルダーヒモは首からかけず肩からななめ掛けにしてください。	
● 振り回すなど乱暴に扱わないでください。(製品が自分や他の人にぶつかるなど思わぬけが、事故の原因となり非常に危険です)	
● 使用時に開閉レバーを操作する際は、必ず製品を立てた状態にして操作してください。(熱い飲み物を入れた場合、内圧が上がり、蒸気が吹き出し、火傷の恐れがあります)	
● 飲み物の量は右図の位置までにしてください。 (入れすぎると漏れたりあふれ出す恐れがあり、やけどや他物を汚す原因となります)	中せん 本体 飲み物 ここまで

こんなときは		
症 状	点検箇所	対処方法
本 体		
保温・保冷効力が弱い	中せんはしっかりしまっていますか？	中せんをしっかりしめてください。
	びんが損傷していますか？	本体にへこみがあると真空断熱層が保持されずに保温保冷効果が発揮できません。
	内容物の量は少なくないですか？	気温など厳しい使用環境条件では、充分な保温保冷効果が得られない場合があります。
中せん	中せんのパッキンは正しく装着されていますか？	説明書の図を参照していただき、パッキンを正しく装着してください。
水が漏れてくる	中せんの内側に少量の内容水が残ることがあります。	操作レバーを開めた後注ぎ口を下に向け、たまり水を出してからご使用ください。
仕様		
部品名	素材の種類	耐熱温度
本体	内側	ステンレス鋼
	外側	ステンレス鋼
コップ	ポリプロピレン	100度
中せん	本体	ポリプロピレン
	スプリング	ステンレス鋼
	パッキン	シリコン
		200度

必ずお守りください	
● 飲料物の保温、保冷以外に使用しないでください。	
● 落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。(本体表面がへこんだ場合、保温・保冷性能が低下することがあります)	
● 塩素系の漂白剤は使用しないでください。	
● シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザー等は使用しないでください。(キズがついたり、サビや故障の原因となります)	
● 熱いやかんを口がね(肩口)に触れさせないでください。(キズや変形の原因となります)	
● 食器洗浄機または食器乾燥機は絶対に使用しないでください。(キズや変形の原因となります)	
● 長時間使用しない時は、パッキン保護の為、中せんはゆるめて保管してください。	
● 缶ジュース等を容器ごと入れないでください。(変形し故障の原因となります)	
● 氷を入れる場合は押し込まず、小さくしてお入れください。	
● 本体の丸洗いはしないでください。(水が浸入しサビが発生したり、他の物を汚したりします)	
● かばん等にいれるときは、万一の漏れをふせぐため本体を立てた状態で入れてください。また、製品と貴重品(携帯電話・カメラ等)を一緒に入れないでください。	
● 熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わります。お出かけの時には、ティーバック等のご使用をおすすめします。	
● ご使用後は本体(内ビン)を柄のついたスポンジ等で十分に洗ってください。(臭いの発生を防止します)	
● 持ち運びの際は必ずコップを装着してください。(中栓の汚れを防ぎます)	
● 中せん、コップ はプラスチック製です、不適切な使用により破損することがあります。ご使用の際は落としたりぶつけたりといった大きな衝撃を与えないでください。	
次の物は絶対に入れないでください	
● ドライアイス・炭酸飲料(ビール) (内圧が上がり中せんが開かなくなったり、内容物が吹き出る等危険です)	
● みそ汁やスープ等・塩分を含んだもの (内びんは18-8ステンレスを使用していますが錆びる恐れがあります)	
● 牛乳・乳飲料・果汁等 (成分が腐食することがあります)	
● 果肉・お茶の葉 (つまる・漏れる等故障の原因となります)	
警告	
注意事項をお守りいただかない場合の損失 損害について、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。	

ショルダーヒモの取り付け

注意

</

ご使用方法	
熱い飲み物は必ずコップに注いでお飲みください。(直接飲むとやけどの危険があります) 警告 ● あらかじめ本体(内ビン)を予冷/予熱しておくで保冷/保温に効果的です。	
中せんの注意点	
● コップ・中せん・本体は煮沸しないでください。(変形や変色、故障の原因となります)	
● 立てた状態でご使用ください。(逆さまにすると漏れるおそれがあります)	
● ご使用前には中せんを本体に確実に閉め込み装着してからご使用ください。(漏れる場合があります)	
● 開閉レバーを操作する時は安定したところに置き容器をしっかり持って慎重に操作してください。	
冷たい飲み物を直接飲む場合 (保冷専用)	
● 直接お飲みになる場合も持ち運びの際は安全のため、コップを装着してください。	
● お飲みになる前に冷たい飲み物が入っているかを再度確かめください。	
● 取り外したコップを失くさないように注意してください。また、ご使用後は確実に本体へ戻してください。	
● 中せん開閉レバーは平らな状態で操作してください。(飲み物があふれ出すおそれがあります)	
● お飲みになる場合は、容器をしっかりと持ち、中栓に軽く口をつけてゆっくり飲みましょう。	
● 氷を入れてご使用になると、お飲みになる時に流量が若干少なくなる場合があります。	
温かい飲み物・冷たい飲み物をコップに注いで飲む場合	
● 注ぐ時はコップを安定した場所に置いて、容器をしっかり持ち、ゆっくり注いでください。	
● 暖かい飲み物を入れた際に、内圧の上昇によりレバー操作が硬くなることがあります。	
● 温かい飲み物を注ぐ時は特に注意して注いでください。	
● コップに注ぎ終わったら、本体を安定した場所に置いて確実に開閉レバーを戻し閉栓してください。	
● コップは取っ手部分をしっかり待ってゆっくり飲みましょう(温かい物を飲む時はやけどに注意してください)	
● 氷を入れてご使用になると、注ぐ時の流量が若干少なくなる場合があります。	
● コップをご使用後はコップ内側の水分を拭き取ってから本体に戻してください。	
交換部品 (中せん)	
● 中せんは交換部品として有償で取り扱っております。	
● 長期のご使用等によって性能が低下する場合がございます、早めの交換をお勧め致します。	

真空二重構造水筒 品番：ST-50B	
重要	
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。交換部品購入時に必要となりますので、捨てずに保管してください。	
コップ 中せん 真空二重構造水筒本体 ST-50B ショルダーヒモ	
ご使用の前に	
熱い飲み物は必ずコップに注いでお飲みください。(直接飲むとやけどの危険があります) 警告 ● ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。 ● ご使用前にコップ・本体・中せんは十分に洗浄してください。 ● 持ち運びの際は必ずコップを装着してください。(中栓の汚れを防ぎます)	
コップ・中せんの取り付け、取り外しかた	
● 左回り(時計と反対回り)で取り外せます。水筒上部から見て右回り(時計回り)で取り付けられます(しっかりと締めてください)	

中せんの操作方法	
開閉レバーを操作する際は、必ず製品を立てた状態にして操作してください。(熱い飲み物を入れた場合、内圧が上がり、蒸気が吹き出し、火傷の恐れがあります) 警告 ① 安定した場所に製品を置き、コップを外します。(製品上部から見て左回りで外すことができます) ② 中せんの開閉レバーを矢印の方向へ「カチッ」となるまで引き上げます。(内圧の上昇で硬いことがあります) ③ カチッとなりましたら注げる(飲める)状態です。4ページの説明を参照し使用してください。(内容水が勢い良く出ることがありますので、熱い飲み物の際は特に慎重に行なってください) ● 注いだ後、中せんに多少のたまり水が残る場合があります。操作レバーを開めた後、注ぎ口を下に向け、たまり水を出してください。	
① コップを外す矢印の方向で外れます。 開閉レバー 中せん 注ぎ口・飲み口	② 開閉レバー(水色の部分)矢印の方向に引き上げてください。 カチッ ③ 開閉レバー(水色の部分)カチッとなり止る場所までレバーが上げられ注げる(飲める)状態です。
● 注ぎ(飲み)終わったら、必ず開閉レバーを上部から軽く押し下げ、閉栓してください。	
● コップを締める際は右回りに「カチッ」とストッパーが利くところまで回してください。	
中せんの洗浄方法	
● 食器洗浄機、乾燥機の使用、煮沸はしないでください。(変形し、中せんの空回りの原因になります) ● 熱い飲み物を入れて使用した場合は容器、中栓が完全に冷めてから洗浄してください。	
① 開閉レバーを引き上げる。	② パッキンを取り外します。(きつい場合があります、慎重に作業してください)
パッキン	指がかりがあります
③ パッキンの方向をお確かめください。	
⑤ 組立の際はパッキンの上下に注意してください。また、均一に装着してください。	
● 組立後は開閉レバーを操作し動作を確認して下さい。また、パッキンに間に隙間が無いことをお確かめください。	